令和7年度 年度始め部課長への訓示

毎年のことですが、新しい体制となりましたので、新たな気持ちで職務に精励してもらいたいと思います。

部課長の皆さんには、それぞれが与えられた業務をしっかり遂行してもらうことが一番大事ですが、役場全体の動きにも常に関心を持って見ていてください。自分の部署には関係ないと思っていても、今は、部局をまたがる課題も多くなっていますので、お互いに当事者意識を持つよう心掛けてください。

さて、自治体を取り巻く課題は、「少子高齢化への対応」、「災害対応の強化」、「デジタル化や脱炭素化の推進」など多岐にわたっており、また、村民生活に関わる場所では、公共交通等いわゆる移動の問題、地域活動団体の担い手不足、空き家の増加なども、ますます顕在化しており、その解決が急務となっております。担当課においては、先進自治体の事例等を調査しながら検討を進めていると思いますが、何かしらの行動に移していきましょう。try&error でいいですから！

今年度から、「まちづくりの羅針盤」や「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートします。また、村として初めて策定した「産業振興ビジョン」もスタートします。計画は作ってからが肝心です。何度も言いますが、一人ひとりが「自分ごと」として捉え、着実に推進してまいりましょう。

年度当初にあたり、皆さんに、2点申し上げておきます。

1点目は、職員の心身の健康保持を意識したマネジメントをお願いします。

役場の仕事は、常に、公平公正で正確さが求められています。それがゆえに、職員の中には、プレッシャーを感じている人も多いことでしょう。責任感の強い職員ほど、自分からSOSを発信することが出来ないと思います。「相談してもらえれば対応できたのに・・・」とならないよう、日頃のコミュニケーションを大事にして、いち早く気付けるような信頼関係を職場内に作ってください。

2点目は、70周年関連施策を役場全体で盛り上げていきましょう。

担当者の皆さんは、「ななまる」というネーミングで、いろいろな機運醸成活動に取り組んでくれています。でも、担当者任せにははいけません。皆さんも、「チームななまる」に協力しながら、自分ができることを見つけ行動してください。これは、単なるイベントではありません。今に生きる私たちが、改めて、この村の魅力に気付き、発信していくこと。そして、次の世代に繋いでいくことが大事です。よろしくをお願いします。

今年度も、大きな成果を出せるよう皆さんの活躍を大いに期待しています。

以上、訓示とします。